

CHAPTER 1 練習問題 解答・解説

問題 1.

自社設備でサーバーやネットワークなどを構成することです。

問題 2.

アンマネージドサービスは、サーバーをそのまま提供するサービスで、自分で管理しなければなりません。マネージドサービスは、データベースサーバーやメールサーバーなど、あらかじめ設定が済んでいるサービスです。維持管理をAWSが担当します。

問題 3.

サービスの稼働率のことです。

問題 4.

AWSのデータセンターの地域のことです。

解説

東京リージョン、オハイオリージョンなど複数の地域(国)にリージョンがあります。

CHAPTER 2 練習問題 解答・解説

問題 1.

AWSアカウント(ルートユーザー)はAWSの利用に際して最初に作成するユーザーで、AWSに関するすべての操作ができます。IAMユーザーは、あとから作成するユーザーで、設定した権限の範囲内でAWSを操作することができます。IAMユーザーには、管理者権限を与えても、契約や請求に関する操作は原則できません。

問題 2.

操作できるアクションを設定するか、既存のポリシーを適用します。

解説

多くの場合は、後者の方法を使います。

問題 3.

略。「管理者ユーザーを作成する」を参照して操作。

CHAPTER 3 練習問題 解答・解説

問題 1.

②

問題 2.

③

解説

S3ではプログラムの実行はできません。こういったシステムを作りたければEC2を組み合わせる必要があります。

問題 3.

ストレージクラスを安いものに変更する。ファイルサイズを減らす(ファイル数の削減)。不要な通信を行わない。

解説

代表的なものを上げました。より利用料の安いリージョンを選ぶといった対策も考えられます。

問題 4.

④

CHAPTER 4 練習問題 解答・解説

問題 1.

①

解説

t2.microは汎用のインスタンスタイプで、小規模なWebサービスの検証に最適です。価格も安く抑えられます。m5も同じく汎用ですが、選択肢にあるm5.xlargeの場合、価格面でt2.microに劣ります。p3とc5はそれぞれ特化した部分のあるインスタンスタイプです。価格も高くなります。

問題 2.

AMI

問題 3.

②

解説

VPCはAWSに触れたことがないと最初は混乱する概念かもしれません。操作を通して学びましょう。

問題 4.

④

解説

Amazon Linux 2023はFedoraをベースとしたLinuxです。そのため、dnfコマンドを使います。

CHAPTER 5 練習問題 解答・解説

問題 1.

Amazon Relational Database Service

問題 2.

RDSで作成するデータベースサーバーのこと。

問題 3.

保守管理の手間が軽減される。バックアップや冗長化などの対応が簡単になる。

解説

5-1-4も参照。

問題 4.

②

解説

スナップショットは一般的な用語として他のソフトウェアやサービスでも用いられます。

CHAPTER 6 練習問題 解答・解説

問題 1.

Elastic IPを用いて静的なIPアドレスを設定する。

問題 2.

①

解説

②はコンテナ技術関連のサービス、④はデータ分析(データウェアハウス)向けのサービス。

問題 3.

Route 53のエイリアス機能を使って、S3バケットにエイリアスを設定する。

解説

エイリアス(alias)は別名を意味します。

問題 4.

バケット名をドメイン名と一致させる。たとえば、「aws.example.com」というドメイン名を設定するなら、バケット名も「aws.example.com」とする。

CHAPTER 7 練習問題 解答・解説

問題 1

②

問題 2

①

問題 3

①

問題 4

通信を適宜複数のサーバー(AWSならEC2インスタンスなど)に分散させる。